



公益財団法人 九州先端科学技術研究所

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

ISITビジョン

ISITは高い技術力と豊富な経験に基づく研究開発成果と多様な組織・個人との共創により新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現を目指します。

概要

沿革：

- 1995年12月25日 (財)九州システム情報技術研究所 設立
- 2008年4月 (財)九州先端科学技術研究所に改組
ナノテク研究室 新設
- 2012年4月 有機光デバイス研究室 新設
- 2013年4月 公益財団法人に移行 (認定 内閣総理大臣)
- 2017年4月 オープンイノベーション・ラボ設置 (改組)
- 2017年6月 産学官共創推進室設置
- 2018年4月 マテリアルズ・オープン・ラボ設置 (改組)

理事長：貫 正義 (福岡経済同友会代表幹事)

研究所長：山田 淳

基本財産：3 億円

職員数：33名 (令和3年7月1日現在)

事業規模：約 3 億6,200万円 (令和3年度予算)



山田 淳 研究所長



福岡SRPセンタービル (ももちキューブ)



福岡市産学連携交流センター (FiaS)

管理・支援部門

総務部

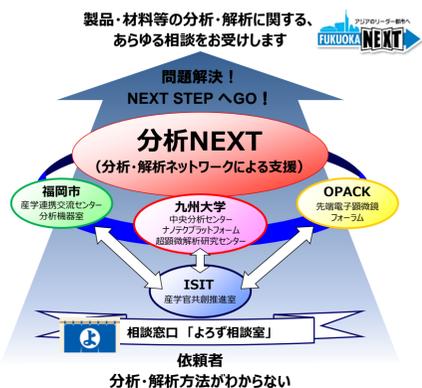
産学官
共創支援部

産学官
共創推進室

コンサルティング

企業や自治体などが抱える、システム情報技術、ナノテクノロジー等の分野における技術的な課題等に関する相談に応じ、解決に向けた支援などのコンサルティングを行っています。

また、企業や大学等の製品・材料等の分析・解析に関する課題の解決支援を行う**分析・解析よろず相談事業「分析NEXT」**を産学官連携で取り組んでいます。



産学連携コーディネーター事業及び新産業・新事業の創出支援

システム情報技術、ナノテクノロジー、有機光デバイス、医療・バイオなどの幅広い分野において、人的ネットワークの形成、関連機関との連携、産学のマッチング支援などを行い、新産業・新事業の創出支援を目指しています。

○ふくおか産学共創コンソーシアム

未来創造化学研究・教育部会 オープンサイエンスプラットフォーム

○ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州 (BODIK)

○福岡市IoTコンソーシアム (FITCO) 等



研究・体制

オープンイノベーション・ラボ (OIL)

ディレクター 荒牧 敬次 (副所長兼務)

社会に貢献する最先端IT技術を活用した社会実装、社会実証を産学官連携で推進



I	II	III
オープンイノベーションのハブ (Hub)	社会実装、社会実証を推進実行 (DoTank)	産業界での商品化・産業化への橋渡し (Bridge Building)

- 新たなビジネス機会を生むイノベーションへの対応 (実証分野) AI、IoT、ビッグデータ&オープンデータ、ブロックチェーン、サイバーセキュリティ、ヒューマンインタフェース、バーチャルリアリティ (VR)、拡張現実感 (AR) 等
- AR・VRの研究と応用 (「はかる」×「見せる」→「役立てる」)
- ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州 (BODIK)
- 「超スマート社会 (Society5.0)」の推進

マテリアルズ・オープン・ラボ (MOL)

ディレクター 山田 淳 (研究所長兼務)

有機・無機・金属ナノ材料より構成される光機能素子・デバイスの創製に向けた基盤技術の開発



ナノ材料グループ

金属ナノ材料より構成される光機能素子の創製に向けた基盤技術の開発

研究グループ長 山田 淳

- プラズモンナノ材料の開発と産業への応用
- 光エネルギー変換ナノ材料システムの開発

有機光デバイスグループ

次世代有機半導体光デバイスの創製に向けた革新的な共通基盤技術の開発

研究グループ長 八尋 正幸

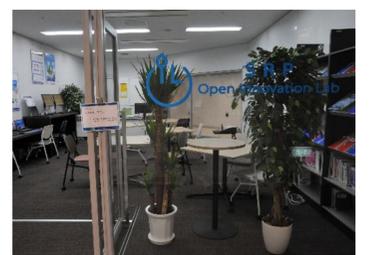
- 有機ELの実用化のための評価技術・最適化技術の研究開発
- 有機光デバイスの励起子制御技術に関する研究開発



交流・人材育成事業

システム情報技術、ナノテクノロジーなど最新の先端科学技術に関する講演会をさまざまな形態で行っています。国内外の研究者による講演会や産学官連携による研究会の開催など、時宜に即した各種イベントを実施し、「人と情報の輪」を広げています。

また、市民の関心の高い分野のセミナーの開催や地域企業の技術者等の研究開発力向上のためセミナーを開催しています。企業や海外から技術者の受け入れ等や、小中学生等を対象としたものづくり教育の支援等を行っています。



SRP Open Innovation Lab